

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 01 月 15 日作成)

|                              |  |  |
|------------------------------|--|--|
| 小委員会名                        | 情報設計小委員会   | 主 査 名：村上 晶子<br>就任年月：2012 年 4 月   |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 建築計画本委員会 (計画基礎系運営委員会)  | 委員長名：菊地成朋<br>主 査 名：西出和彦  |
| 設 置 期 間                      | 2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月  |  |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <p>・初年度：年次シンポジウム・見学会開催、RT 研究会の開催 (10 回)、『行く見る測る考える/鹿島出版』刊行フォロー、『建築の予言』執筆準備・建築視察</p> <p>2 年度：年次シンポジウム開催、見学会、ラウンドテーブル開催 (10 回)、成果刊行のフォロー、新規出版『建築の予言』執筆・刊行</p> <p>3 年度：年次シンポジウム開催、見学会、ラウンドテーブル開催 (10 回)、委員会研究成果刊行のフォロー、書籍『建築の予言』の普及活動</p> <p>4 年度：年次シンポジウム開催、見学会、ラウンドテーブル開催 (10 回)、同上</p> |  |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | <p>委員公募の有無：あり</p> <p>村上晶子(明星大学) 湯本長伯(日本大学) 玉井洋(鹿島建設) 伊東正示(シアターワークショップ)<br/>伊藤雅春(愛知学泉大学) 遠藤勝勲(同設計室) 笠井香澄(竹中工務店) 加茂紀和子(みか<br/>んぐみ) 広田直行(日本大学) 松本文夫(東京大学) 連健夫(同建築研究室)<br/>山岡嘉彌(山岡デザイン事務所) 山極邦之(大林組) 山本想太郎(同アトリエ)<br/>米田正彦(アトリエフォーラム)</p>  |  |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | <p>建築の予言刊行 WG 日本建築学会賞受賞作品についての見学会を開催し、プログラム論へ展開する。その成果を『建築の予言』(鹿島出版)として刊行する。<br/>(年 8 回程度開催)</p>   |  |
| 2013 年度予算                    | 135,000 円  | ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス：<br><a href="http://www.arch.ce.nihon-u.ac.jp/~yumoto/infoD/">http://www.arch.ce.nihon-u.ac.jp/~yumoto/infoD/</a> |

| 項 目                                       | 自己評価   |
|---|--|
| 委員会開催数                                    | 18 回 (年度内計画を含む) (委員会+WG)   |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く)                        |  |
| 講習会                                       |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会承認企画 |  |
| 大会研究集会                                    |  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                        | 1. 旧都城市民会館・保存再生活用について+P <sup>o</sup> ポータルコンパ <sup>o</sup> 実施   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)            | 1. 委員会活動の活発性は120%程度の達成度<br>2. 学会外で行う出張シンポジウム等を3回開催、大きな成果があった   |
| 委員会活動の問題点・課題                              | 1. 刊行計画は、慎重に進めているため予定より遅れている<br>2. 委員の出席に不陸があり、委員構成を見直した<br>3. 外部での一般向けシンポジウム等には大きな意義があったが、労力も大きいだけでなく、学会としての支援施策が希薄である。 |